

小規模企業景気動向調査

[平成23年2月期調査]

～建設業を中心に、厳しい状況となった小規模企業景況～

2011年3月30日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2011年2月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…建設業を中心に、厳しい状況となった小規模企業景況…◇

2月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は、▲39.1と前月調査に比べ2.2pt低下した。海外需要の恩恵が伝えられる製造業等では持ち直しを伝える声も散見されているが、官公庁工事が減少した建設業、エコポイント制度変更による反動減が伝えられる小売業等を中心に厳しい現状が続いている。

<製造業> ◇…アジア需要を背景とした持ち直しが続く製造業…◇

製造業DIは、▲26.3と前月比で2.1ptの改善となり、4ヶ月続けての持ち直しとなった。金属加工や半導体等といった業種からは、中国や東南アジア等を中心とした海外需要の影響により堅調との声が伝えられている。自動車部品製造業においては、輸出を背景にした受注増を伝える声が聞かれる一方で、エコカー補助金制度終了による反動減を伝える声も依然根強く、事業者間で格差が広がっている。

<建設業> ◇…需要減と採算の悪化に苦しむ建設業…◇

建設業DIは、▲48.5と7.9ptの悪化となっている。公共事業の発注等の時期であるが、「公共事業が少なくなっている。年度末なのに仕事がない状態。」(大分県)との声が聞かれるなど、工事件数自体の減少に加え請負単価の低価格化競争により、厳しい状況となった。民間工事においても状況は変わらず、引き続き、建設業を取り巻く経営環境は厳しさを増している。

<小売業> ◇…家電エコポイント制度変更に伴う反動減が続く小売業…◇

小売業のDIは、▲42.5と前月に比べ4.1ptの悪化となった。家電エコポイント制度の制度変更の影響により、耐久消費財を中心に反動減が続いている。また、食料品や石油製品等を中心に原材料の高騰が続いている影響で、売上及び採算に影響が出ている模様。また、郊外型ショッピングセンターの資本力を背景とした値下げ攻勢に、小規模小売業者は対抗できず、顧客の流出が続いており、地域の商店街は非常に厳しい状況に置かれている。

<サービス業> ◇…連休効果で観光業を中心に持ち直したサービス業…◇

サービス業DIは、▲39.2と1.0ptの持ち直しとなった。今年は建国記念日が金曜日となったことで3連休が生じたことから、旅館業を始めとした観光関連サービス業を中心に前年比持ち直したとの声が聞かれている。大雪もスキー客の増加に繋がった模様、一方で観光業以外のサービス業からは、「大雪で客足が遠のいた。」(理容業)等大雪による売り上げ減を指摘する声が聞かれた。しかし、原油や食料品等の原材料高の影響は深刻で、運送業、クリーニング業、飲食サービス業等幅広い業種から苦境を伝える声が聞かれている。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比
売上額	▲35.1	▲37.4	▲2.3	▲21.8	▲21.3	0.5	▲32.9	▲40.3	▲7.4
採算	▲34.0	▲36.2	▲2.2	▲26.4	▲25.5	0.9	▲38.8	▲47.9	▲9.1
資金繰り	▲31.3	▲31.6	▲0.3	▲25.0	▲24.3	0.7	▲35.8	▲41.7	▲5.9
業況	▲36.9	▲39.1	▲2.2	▲28.4	▲26.3	2.1	▲40.6	▲48.5	▲7.9

業種	小売業			サービス業		
	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比
売上額	▲41.0	▲43.5	▲2.5	▲44.7	▲44.7	0.0
採算	▲36.8	▲38.3	▲1.5	▲34.0	▲33.3	0.7
資金繰り	▲34.1	▲31.6	2.5	▲30.3	▲28.6	1.7
業況	▲38.4	▲42.5	▲4.1	▲40.2	▲39.2	1.0

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

※本調査は、2月末日時点のデータを基に集計しております。

全国商工会連合会 市場開拓支援課